

Scrum ースクラムー

●●●●●●●● 道徳教育の推進に向けて ●●●●●●●●

指導部主任指導主事 古屋 真宏

「この読み物資料は、とても使いやすいですね。子供たちが、先人の生き方を身近に感じ、自分の考えを深めていくことのできる教材です。」

ある区立小学校の道徳授業地区公開講座で、読み物資料「あの日をさかいに―糸川英夫」（東京都道徳教育教材集「心しなやかに」）を活用した公開授業を参観した後に、指導をされた先生から伺った言葉です。

この授業では、子供たちが主人公の心の変容をじっくり考えながら語り合う姿が数多く見られました。また、板書には、場面絵とともに子供たちの思考の深まりが読み取れる発言が構造的にまとめられていました。綿密な教材研究に裏打ちされた授業実践であることがうかがわれます。

都教育委員会では、学校と家庭、地域社会が一体となって、人が人として生きていく上で大切にすべき道徳的価値を確実に継承させ、東京の子供の豊かな心を育成するために、東京都独自の道徳教育教材集を全児童・生徒に配布しました。

教材は、授業に活用されてはじめてその意味をもち、子供たちの豊かな心の育成に生きて働くものとなります。東京都道徳教育教材集の活用を通して、子供たち一人ひとりが、先人のことばや生き方に学び、より積極的な自己像を描き、未来に夢と希望をもって力強く生きていけるよう、各学校での創意工夫した授業実践をお願いいたします。また、家庭や地域における道徳教育に、活用の輪を広げていただければ幸いです。

今後も、効果的な教材集の活用事例をスクラム等で発信してまいります。

目 次

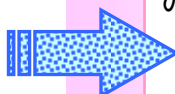
- 平成 25 年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を 7 月 4 日（木）に実施します。… 2
- 「理数教育の窓」― 理数好きの子供たちを育てるために ― …………… 3
- 「道徳教育の窓」― 東京の子供たちの豊かな心を育む ― …………… 4
- 「中学生の職場体験」から「キャリア教育」へ…………… 5
- 「特別支援教育の窓」― 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して ― …………… 6

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存知ですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にさせていただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、順次「学び応援ページ」に掲載します。

（東京都教育委員会ホームページアドレス
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

学び応援ページを御活用ください！



東京都教育委員会ホームページ・トップページ
の下の方に、このバナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。

平成25年度『児童・生徒の学力向上を図るための調査』を 7月4日（木）に実施します。

東京都教育委員会は、平成25年7月4日（木）に、都内全公立小・中学校の小学校第5学年の児童と中学校第2学年の生徒を対象に、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施します。本調査のねらいは、児童・生徒の学習上の課題やつまずきの状況を把握することにより、確かな学力の定着と伸長につながる教育行政施策の立案・実施、学校における組織的な授業改善、家庭と連携した学習環境の整備等を実現することにあります。円滑な実施に向けて、御理解・御協力をお願いいたします。

7月4日に調査を実施します。調査内容は、学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況及び読み解く力に関する定着状況を把握するための内容、意識調査（質問紙調査）です。調査終了後は、既習事項の復習や課題の見られる内容の確認・定着のために、調査問題を授業等で御活用ください。

調査の流れ

調査を実施します

調査の採点をし
結果を分析します

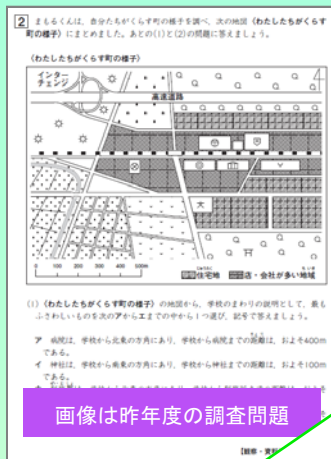
課題や授業改善の
ポイントを把握します

課題に応じた手立てを
工夫し授業改善を
実践します

確かな学力の
定着と伸長へ

各校での採点作業が円滑に行われるよう、出題のねらいや誤答の要因等を示した「採点要領」を配布します。なお、この「採点要領」は、採点終了後、学習のつまずきを分析する際にも、御活用ください。

調査結果を個人票プログラムに入力し、個人票を作成します。児童・生徒一人ひとりに自己の課題を把握させ、今後の学習に目標をもって取り組ませるための資料として御活用ください。



平成25年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」個人票

学年 5 出題年度 平成25年7月 東京都教育委員会

教科	大 数の領域		算 術		図 形		計 測		データ		総合的な学習の時間		調査の結果	
	問題	採点	問題	採点	問題	採点	問題	採点	問題	採点	問題	採点	問題	採点
算数														
国語														
英語														
理科														
社会														
総合														
合計														

調査の結果


画像は昨年度の個人票

調査結果の分析から児童・生徒の学力の定着状況やつまずきを把握し、その解決に向けた手立てを考えます。

その具体的な授業改善策等を反映させて、「授業改善推進プラン」を見直し、より児童・生徒の実態に即した授業等を行うための準備をします。

「授業改善推進プラン」に基づき、確かな学力の定着と伸長に向けた取組を、授業等の中で実践していきます。

都教育委員会は、分析結果や授業改善のポイントをまとめ、11月に報告書を各学校に配布するとともに、調査結果説明会を実施します。また、報告書の内容の一部をまとめたリーフレットを、全ての先生方に配布します。

調査問題や解答等は、調査終了後、に公表します。「学び応援ページ」には、過去の調査問題や調査結果の他、「授業改善ハンドブック」等も掲載しています。ぜひ御覧ください。



「理数教育の窓」 —理数好きの子供たちを育てるために—

観察・実験の準備や予備実験について

理科の観察・実験は、問題解決の活動の中核に位置付けられるものであり、児童・生徒が見通しをもって円滑に実施できるようにすることが大切です。そのためには、教師による準備や予備実験が不可欠です。

そこで今回は、円滑な観察・実験の実施に向けた準備の工夫例や予備実験を行う際のポイント例を紹介するので、ぜひ、参考にしてください。

☆ 観察・実験の準備の工夫例

(1) 観察・実験を円滑に行わせるために、必要な器具等をグループごとにトレイ等に入れておく。

例：単元「化学変化と原子・分子」炭酸水素ナトリウムの加熱実験(中学校第2学年)

1つのトレイにまとめておく器具等

- ・炭酸水素ナトリウム・フェノールフタレイン・石灰水・薬さじ
- ・塩化コバルト紙・小分けした石灰水・試験管・マッチ
- ・ゴム管付きL字管・燃えさし入れ・試験管立て



必要な物品をグループごとにセットしたトレイに

実験の際にグループごとに配布して、準備や片付けの時間短縮を図る。

(2) 観察・実験の準備を効率的に行うために、特定の単元で必要となる器具等をセットで整理しておく。

例：単元「電流とその利用」(中学校第2学年)

セットで整理しておく器具等

1グループ分の必要数

- ・導線(赤4本・黒4本)・電池ホルダー(2個)・スイッチ(1個)
- ・2.5V用豆電球(2個)・3.8V用豆電球(2個)・10Ω抵抗器(2個)
- ・20Ω抵抗器(2個)・

6グループ分用意しておき、回路を作成する実験のときに活用

電気回路を作成する実験の準備の際に利用して、準備の時間短縮を図るとともに器具の管理等に活用する。

☆ 予備実験を行う際のポイント例

(1) 危険な要素を確認する。

- ・実際に使用する薬品を使って予備実験を行い、薬品の濃度が適切であるか確認する。
- ・児童・生徒が授業中に準備を行う際の動線や実験を行う際の環境を実際に確認する。

(2) 児童・生徒の実態に適した実験となっているか検討する。

- ・使用する器具が多い場合は、少なくできるか検討する。
- ・実験の手順が複雑な場合は、事前に教師が準備したものを活用させる等、手順を簡素化することができるか検討する。
- ・実験の準備から実験結果の記録や片付けまで、時間内で行えるか検討する。

(3) 問題に対する結論につながる結果が得られる実験となっているか確認する。

- ・同じ手順で実験を行った際に、どのグループも同様の結果が得られるか確認する。
- ・児童・生徒が考察を行う際に必要となる結果が得られる実験となっているか確認する。

「道徳教育の窓」

— 東京の子供たちの豊かな心を育む —

東京都道徳教育教材集

第2章「先人の生き方に学ぶ」を活用しよう！

● 「私たちと同じように悩んだり、失敗したりしていたんだ。…」

「本にのっている先人は天才で、努力家なんだよ。だから有名になったんだよ…。」

そんな声を子供から聞くとときがあります。しかし、それは先人の一面でしかありません。

失敗や挫折を生涯全く経験することのない人が、いるでしょうか？また、偉人として語られる先人は、何不自由のない理想的な環境があったから、すぐれた仕事をなしとげることができたのでしょうか？

教材集第2章「先人の生き方に学ぶ」からは、先人たちも私たちと同じように悩んだり、失敗したりしてきたこと、そして、その生涯が、数多くの困難や苦労と直面したものであったことが見えてきます。

● 長崎県の平和祈念像を制作した北村西望は…

例えば、教材集5・6年生版に登場する彫刻家の北村西望は、若い頃、コンクールでなかなか評価されず、すでに活躍している友人と自分を比べて自信を失い、悩み苦しみました。その姿は、子供たちにとって新鮮に感じられるとともに、自分を重ね合わせながら読む中で、苦難を乗り越える強さをもつことの大切さに気付かされるのではないのでしょうか。

生きていく上で、困難や苦労は必ずあります。教材集5・6年生版第1章の「苦徹成珠」の言葉のとおり、また、ドイツの詩人 フリードリヒ・フォン・ローガウの「自分自身と闘うことこそもっとも困難な闘いであり、自分自身に打ち克つことこそ最高の勝利である。」という言葉のとおり、いかなる苦境においても、決して負けない強い自己を作り上げていくことが重要です。

● だれかのためにがんばること、つくすこと…

第2章には、だれかのためにがんばったり、だれかの幸せのためにつくしたりした先人の生き方が、取り上げられています。仕事に励む大人のことを思い、自分にできることをがんばる二宮尊徳（1・2年生版）、江戸の人々のために私財をなげうって上水を開削した玉川兄弟（3・4年生版）、多くの困難を乗り越え東京の復興に尽くした後藤新平（5・6年生版）など、だれかのために力をつくした先人たちの姿は、子供たちに感動をあたえることでしょう。だれかのことを思い、よりよい社会の実現のため、人々の幸福のために献身的に取り組む姿をぜひ読み取ってほしいと思います。

小学校の 活用例

小学校用の各版には、伝記読み物資料が6編ずつ掲載されています。2年間の道徳の時間の中で、計画的に御活用ください。

小学校1・2年生版「心 あかるく」 「ふるさとを 歌に —中村 雨紅の ものがたり—」 p. 58～p. 63

中村雨紅は、ふるさとの風景を思い浮かべながら「夕焼け小焼け」の詩を作った人物です。導入では、まず、「夕焼け小焼け」の歌を聴かせ、児童の興味、関心を高めてみてはどうでしょうか。展開の後段では、自分の住んでいる地域のすばらしさに目を向けさせることで、ねらいとする道徳的価値に迫っていくことができます。また、第2章の物語の挿絵（場面絵）は、電子データで配布されているものもあります。大きさも変えられるので、一枚絵としてぜひ活用してください。

小学校3・4年生版「心 しなやかに」 「植物の不思議にひかれて —牧野 富太郎—」 p. 46～p. 53

日本の植物学の父といわれる牧野富太郎は、数多くの新しい植物を発見し、名前をつけました。この物語を中心資料として活用する際は、第1章の「梅一輪 一輪ほどの暖かさ」（p. 23）を導入で活用したり、第3章の「⑪自然のすばらしさをいっぱい感じよう」（p. 112, 113）を終末で活用したりすることが考えられます。また、東京のアルバム「国登録文化財 牧野記念庭園」（p. 36）や「都レンジャー」（p. 90）も活用することで、児童の興味、関心を高めるだけでなく、児童が深く考える一助となります。ぜひ活用してください。

「中学生の職場体験」から「キャリア教育」へ

7月は、9月と並び多くの中学校で職場体験が実施されます。それぞれの職場での貴重な体験の中で、生徒たちは、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等について考えることでしょう。

職場体験は、キャリア教育の一環として、社会人・職業人として生きていくために必要な能力や態度を身に付けていく契機となる体験活動です。この貴重な体験を生かし、学校での教育活動全体で「キャリア教育」を推進していくことが大切です。

●平成25年度 都内公立中学校の職場体験実施時期一覧（単位：校）

※複数学年で実施する学校は重複して数えています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区	0	3	34	81	20	96	27	52	5	52	28	0	398
市町村	1	5	24	49	1	76	23	41	5	21	11	6	263
合計	1	8	58	130	21	172	50	93	10	73	39	6	661



年度当初から準備や事前学習を進めて7月に職場体験を実施し、夏休み中に事後学習に取り組むパターンと、夏休みまで準備や事前学習を行って夏休み明けに職場体験を実施し、それから事後学習を進めるパターンが多いようです。

●平成25年度 都内公立中学校の職場体験実施予定一覧（単位：校）

合計 627 校のうち、36%にあたる 226 校が5日間、全体の 83.7%にあたる 525 校が3日間以上の職場体験を実施しています。

	区	市町村	合計
1日間実施	10	2	12
2日間実施	62	28	90
3日間実施	161	126	287
4日間実施	8	4	12
5日間実施	145	81	226



《都教育委員会の取組》

都教育委員会は、東京都青少年・治安対策本部と連携して、『わく(Work)わく(Work)Week Tokyo（中学生の職場体験）事業』として、中学生の職場体験を支援する事業を推進しています。

◆中学生の職場体験推進協議会の開催

産業団体等を中心に協議会を年2回開催。効果的な事例の紹介や有識者の講演等を通して、職場体験の意義や今後の在り方について広く周知を図る。

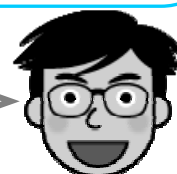
◆「中学生の職場体験受入事業所一覧」「同 都庁関連受入協力職場一覧」の作成・配布

推進協議会を中心とする受入事業所（24年度1592事業所）、都庁関連の受入職場（25年度212職場）の一覧を区市町村教育委員会を通して各学校に配布し、職場体験の受け入れを推進する。

◆『わく(Work)わく(Work)Week Tokyo（中学生の職場体験）発表会』の開催

職場体験に関わる優れた取組について、中学校や受入事業所から発表を行う他、功労があった事業所等に感謝状を贈呈する。今年度は平成26年1月19日（日）に開催の予定です。

メール・マガジン「Scrum」では、中学生の職場体験事業に関する取組や「キャリア教育」についても、情報を配信していきます。



「特別支援教育の窓」

— 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して —

1学期のまとめに向けて

6月も終わり、1学期のまとめの時期になりました。特別な支援を必要としている児童・生徒も円滑に学校生活がおこなわれているでしょうか。もしも、学習上や行動上の課題ある場合、夏季休業の前に対応することが大切です。



特別な支援を必要とする児童・生徒で、授業中に落ち着きがなかったり、注意が散漫な様子が目立つ子供がいます。どのように対応したらよいのでしょうか。

3つのポイント

- ・ 指導方法
- ・ 学習環境
- ・ 学校行事



一人ひとりの理解度に合わせた授業

児童・生徒のノートを確認してください。読むことや書くことが不得意であるために、板書を書き取れていないようなら、補助プリント等の支援が必要です。そして、児童・生徒ができたことに目を向けられるように、ほめることが重要です。

分かりやすい予定の提示

行事の内容に見通しがもて、本人が納得することが必要です。

日程や内容等を確認し、必要に応じて、絵カードや書き込みプリントなどを使用することが有効です。



整理・整頓された落ち着いた教室環境

教室の壁や黒板の周りなどが、整理・整頓され、すっきりとした環境になっていることが大切です。

また、大きな音に過敏に反応してしまう児童・生徒もいるため、落ち着いた学級の雰囲気をつくることが重要です。

夏季休業の前に、個別指導計画を基に保護者や本人と面談を行い、指導の成果と2学期の課題について十分な共通理解をしましょう。

必要に応じて、特別支援教育コーディネーターや専門家等と支援会議を行い、一人ひとりに応じた指導と支援を考えていきましょう。

